**１　古墳群の調査・研究に関して**

**■古墳群全体について**

**（御意見・御質問）**

・石清尾山に古墳が造られた時代はいつごろですか？

・なぜ、眺望の良い室山山頂に古墳は築造されなかったのですか？（室山城の築城時に削平されたのですか？）

・積石塚は瀬戸内海を航行する船からも目立たせるために造ったのではないでしょうか？

・積石塚に利用した石はどこから持ってきたのですか？（採石場はどこですか？石質は？）

**（答え）**

　石清尾山の積石塚は、古墳時代前期（３世紀中頃～４世紀代）に築造され、特に前期前半には峰山から稲荷山にかけての広い範囲に築かれました。各古墳からは高松の異なる地域が見えるという特徴があり、一部の古墳からは瀬戸内海を望むことができます。瀬戸内海に向けて「見せる」ことを強く意識した立地と言えます。室山山頂部では現在のところ積石塚は見つかっておらず、室山城の築城に際して壊された可能性もありますが、詳細は不明です。

　積石塚で利用されている石は安山岩という種類で、山頂付近で同じ石が採取できます。積石塚にはこの山で採れた石を使用していると考えられますが、具体的にどこで採取したのかはこれからの調査・研究課題と言えます。

**■個別の古墳について**

**（御意見・御質問）**

・双方中円墳をもっと評価して欲しい。

・鶴尾神社４号墳と稲荷山北端古墳はどちらが古いのか？（資料集のＰ１９とＰ２８で意味するところが異なると思う）

・鶴尾神社４号墳の鏡が手擦れによって磨滅したというのはどう考えてもおかしい。鋳上がりが悪かったと解すべきではないか。従って、鶴尾神社４号墳はもっと古いものである。

**（答え）**

　石清尾山古墳群に３基あった双方中円墳は、この古墳群を特徴付ける重要な古墳です。シンポジウムでもその重要性について講師の方々のお話しがありましたが、これからも調査・研究を進めて、その価値をより一層顕在化していけるよう努めてまいります。

　双方中円墳の一つである稲荷山北端古墳ですが、古墳群中でも古い時期の古墳（古墳時代前期前半古相）と位置付けています。同時期に位置付けられる鶴尾神社４号墳との前後関係は、古墳の形状など複数の要素から推定しており、現在のところ鶴尾神社４号墳の方が古いと考えています。資料集Ｐ１９の表は、同時期の古墳について年代的な前後関係を示していませんので御留意ください。

　さらに詳しく鶴尾神社４号墳の築造時期について触れると、この古墳の埋葬施設から出土したのは銅鏡１点と管玉１点が知られるのみで、副葬品の組み合わせという観点から時期を決めるのは困難ですが、墳丘から多くの壺形埴輪などが出土しており、出土した埴輪や前方部の形状など複数の要素を考慮して古墳時代前期初頭と推定しているところです。

なお、鏡が摩耗した状態については、様々な解釈があるため、今後とも調査・研究が必要です。

**■その他**

**（御意見・御質問）**

・広瀬先生の講演の中であった「イキトウ」とは何ですか？

・調査・研究にぜひ参加したい。ボランティア調査員として広く募集していただきたい。

**（答え）**

　「イキトウ」とは、九州北方の玄界灘にある壱岐島（いきのしま）を指しています（長崎県壱岐市）。

　古墳群の調査・研究はこれからも継続する必要があり、いただいた御意見も踏まえながら、市民が広く関わっていける仕組みづくりを考えてまいります。

**２　古墳群の保存に関して**

**■古墳群全体について**

**（御意見・御質問）**

・注目されることは良いが、多くの方が来訪することで積石塚が壊れる恐れがある。

・古墳のリアルに触れる喜びと保存のジレンマ（石棺など）が難しいと感じました。

・古墳に樹木が多すぎるため、撤去しても良いのではないか？

**（答え）**

　国史跡の古墳を多くの方々に見ていただき積極的に活用する必要がありますが、御指摘のとおり積石塚の上に登ることで古墳が崩れてしまう恐れがあります。また、古墳上の樹木は台風などの際に倒れて古墳を破壊する原因ともなります。

高松市ではこういった状況を把握した上で、古墳群の保存・活用に関する基本ルールを定める「保存活用計画」の作成に着手しています。どのようにすれば、今の状態で後世に積石塚を残すことができるか、保存と活用の両面から慎重に検討して計画を作成いたします。

**■個別の古墳について**

**（御意見・御質問）**

・鶴尾神社４号墳の下の崖はどうなっていますか？

**（答え）**

　鶴尾神社４号墳の保存のため崖を埋め戻す工事を平成２２・２３年度に行いましたが、その後、良質な工事用残土が得られず、崖がまだ残った状態です。そのため、現在、古墳を保存するための基本計画を作成中です。

**３　古墳群の活用に関して**

**■古墳群のイベントに関して**

**（御意見・御質問）**

・石清尾山での行事を多彩にして欲しい。

・解説付きで峰山を歩くイベントを実施して欲しい（今後も啓発する講演会・見学会などのイベントを実施して欲しい）。

・津田古墳群（さぬき市）では古墳まつりがありますが、高松市でも実施して欲しい。

**（答え）**

　昨年度から峰山地区の古墳を対象とした見学会を開催するなど、これまで行ってこなかった地区でイベントを開催しています。今後も、視点を変えたイベントを計画するとともに、他の自治体の事例も参考としながらイベントを計画したいと存じます。イベントについては、市ホームページや市報などに情報を掲載し、皆様に周知いたします。

なお、本市には市民の団体の方を対象とした「市政出前ふれあいトーク」という制度があり、参加人数などの条件を満たせば無料で古墳群を御案内できますので、どうぞ御活用ください（申込先：高松市役所１階市民相談コーナー ０８７－８３９－２１１１）。

**■古墳群の整備に関して**

**（御意見・御質問）**

・見学道を整備して欲しい。

・どこから見えるのかを古墳ごとに看板を設置する（下からも、「○○古墳見えます」の案内板をセットで設置するのはいかがですか）。

・麓から登れるマップ作りを行って欲しい。

**（答え）**

　古墳上を通過する管理道もあることから、見学に使用する道の整備は必要と考えております。また、マップにつきましては、亀阜コミュニティ協議会で作成されたものがございますが、今後、見学道の整備等に併せて、本市でもその作成を検討します。御提案のあった、古墳群に行かない方にも認知いただけるような看板につきましても素晴らしいアイデアと考えます。まずは、基本方針となる保存活用計画を作成し、古墳群の整備について検討してまいります。

**■古墳群の情報発信について**

**（御意見・御質問）**

・広報活動をもっと多くして、観光にも役立てて欲しい（県内の方でも知らない方が多い）。

**（答え）**

　まずは、石清尾山古墳群を市内や県内の方に知っていただくことが重要と考えており、そのためには、これまで以上に古墳群の情報を様々な機会に発信する必要があります。イベントの機会を増やすだけではなく、各種媒体による情報発信を検討するなどして、これまで以上に広報活動に努めてまいります。

　また、古墳群を観光に生かすことは、史跡の活用面で重要な課題です。現在、高松市は高松観光コンベンションビューローの「ぷち旅プラン」という企画に協力して、石清尾山古墳群のツアーを実施しています（平成３０年度から春と秋に開催）。このツアーは、県外の方にも高松市の隠れた魅力を発見していただくために企画されたものです。今後とも、古墳群の様々な魅力をお伝えできるように、ツアーの企画・運営に協力してまいりたいと思います。

**４　その他**

**（御意見・御質問）**

・国史跡に指定されることのメリットは？また、指定されないとどのような不都合がありますか？

・古墳群のことに関して、聞きたいことはどこに行って聞けば良いですか？

**（答え）**

　メリットは、古墳群が高い文化財的価値を有することを広く知っていただけるとともに、自治体が国の補助金を利用して保存活用策を講じることができる点などが挙げられます。一方、史跡に指定されない場合、古墳群の高い文化財的価値を伝えにくくなるとともに、その保存・活用に当たって自治体の財源確保が難しくなることなどがあります。

**【問い合わせ先】**

　石清尾山古墳群の調査・研究は高松市埋蔵文化財センター（０８７－８２３－２７１４、土日祝日及び年末年始は休館）で行っておりますので、詳しいことをお知りになりたい場合は当センターにお問い合わせください。